

あれから(廃線)20年

三河線廃線区間

三河御船編



変わり行く廃線跡(三河御船編)

目 次

三河御船駅

LE-Car 最後の日----- 1

枝垂れ桜----- 2

在りし日の LE-Car----- 3

三河御船駅跡----- 6

大量の土・枕木及び杭が搬入----- 6

花壇に咲く花----- 7

1号踏切復活----- 8

河津桜咲く----- 9

山吹の花----- 11

御船周辺の案内板----- 11

廃線後 春夏秋冬----- 12

御舟石----- 26

御船川橋梁----- 27

番外編・御船の河津桜----- 30



三河御船駅

三河御船は枝下と同じく昭和2年8月26日開業した。開業当時は変則的な島ホームで1人勤務。貨物扱い時は、猿投駅から係員が派遣された。構内は、駅舎方が貨車の留置線で反対側が旅客の着発線。変則的な島ホームだったという。(三河御船で貨物扱いがある時は、猿投から係員が派遣されたという。当時・猿投駅勤務していた「原田栄さんは、三河御船で発送・到着の貨物扱い時は三河御船駅で貨物扱いをしたという。)」 貨物営業廃止は、昭和18年だったと思うが、19年だったかもしれないという。

また、三河御船駅は、三河線内で最初に駅員無配置駅化(昭和27年11月28日)された駅でもある。

LE-Car 最後の日…平成16年3月31日





現役のころから気になっていた枝垂れ桜の大木、
LE-car の雄姿を入れて撮ろうと最後の日、現場
へ行く。先着者3名が三脚を据えて場所取り。
上下4本を見送ったが、依然三脚を構えて動じず、
諦めて海線 LE-Car 撮りへ向かう。

平成 16 年 3 月 31 日

猿投～三河御船

枝垂れ桜



在りし日の
LE-Car たち







三河御船駅跡

ふれあい広場の看板掲出



駅跡地に「ふれあい広場」の看板を掲出
…平成 19 年 11 月 18 日



柵のペンキ塗り…平成 19 年 2 月 26 日



黒ビニール(雑草防止)を敷く…平成 19 年 4 月 4 日

大量の土・枕木及び杭が搬入

大量の土・枕木・杭が搬入されたのを確認すれば、何を造ろうとしているか想像できる。



土搬入…平成 19 年 4 月 27 日



枕木搬入…平成 19 年 5 月 20 日



杭搬入…平成 19 年 7 月 16 日



予想通り花壇造り…平成 19 年 6 月 11 日



植栽された花たち…平成 19 年 11 月 18 日

花壇に咲く花



昨秋に植栽された花が春になると成長し咲き乱れる…平成 20 年 5 月 1 日



旧1号踏切復活

昭和40年代前半、廃止された三河御船1号踏切が40年振りに道路として復活。南北を移動するのに大回りしていた住民にとって貴重な生活道路が復活した。構内の広場にはベンチが新設され、桜のシーズンには腰かけて花見が…。 平成20年3月7日



秋が来ると、花壇に咲き乱れた花が、その役目を終え桜の木の肥やしに…。 平成23年11月26日





御船周辺の案内板が掲出された…平成 28 年 4 月 2 日



河津桜咲く

本家、伊豆の河津町の河津桜や岡崎の乙川沿いの河津桜並木には及ばないが、ここ御船の河津桜並木(22本)も圧巻である。年を追うごとに、すすくと伸びた枝が力強さを感じる。

平成 28 年は暖冬のため例年より 2 週間程早く咲く。

平成 28 年 3 月 12 日。



平成 24 年 4 月 1 日



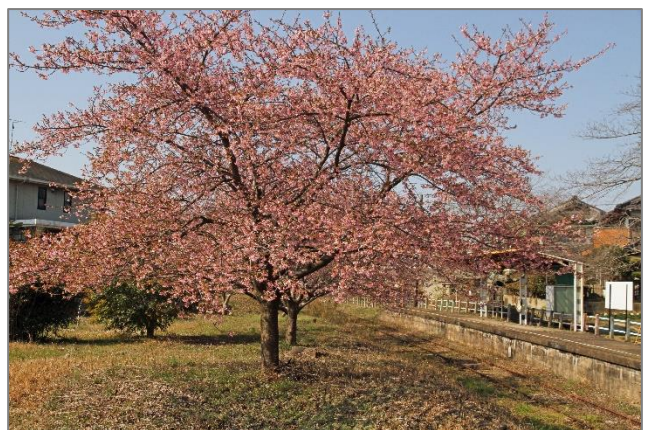
平成 24 年 4 月 1 日



平成 28 年 3 月 12 日



平成 28 年 3 月 22 日





平成 24 年 4 月 1 日

山吹の花

小学生時代に覚えた句が 何故か思い出す

「七重八重 花は咲けども 山吹の 実(蓑)の一つだに 無きぞ悲しき」



2年前に植栽された山吹が成長し見事な花を付けました…平成28年4月30日



御船地区の三河線廃線跡散策路(三河御船～御船川橋梁間)の案内板掲出…令和5年9月23日



ホームの上屋が撤去されていた…令和5年12月2日



平成 19 年 4 月 8 日



桜&菜の花…平成 20 年 4 月 2 日



夏草に覆われて…令和元年 8 月 3 日



桜の木も冬支度…平成 27 年 11 月 15 日



雪景色…平成 28 年 2 月 20 日



平成 24 年 3 月 8 日



平成 24 年 3 月 20 日

春

春の開花は毎年、間違いなく白梅・河津桜。染井吉野の順に開花する。



平成 24 年 4 月 1 日

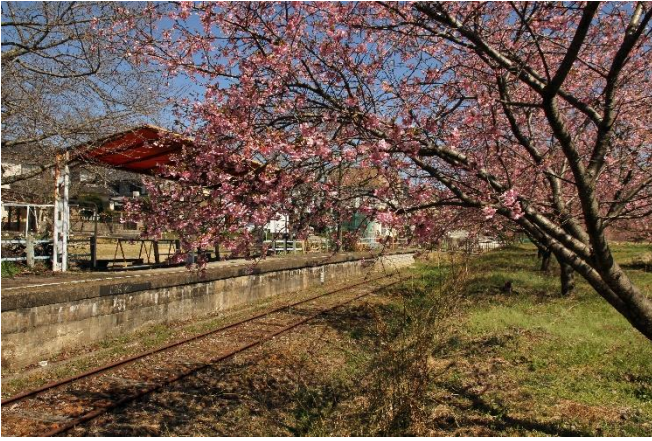


平成 24 年 4 月 8 日

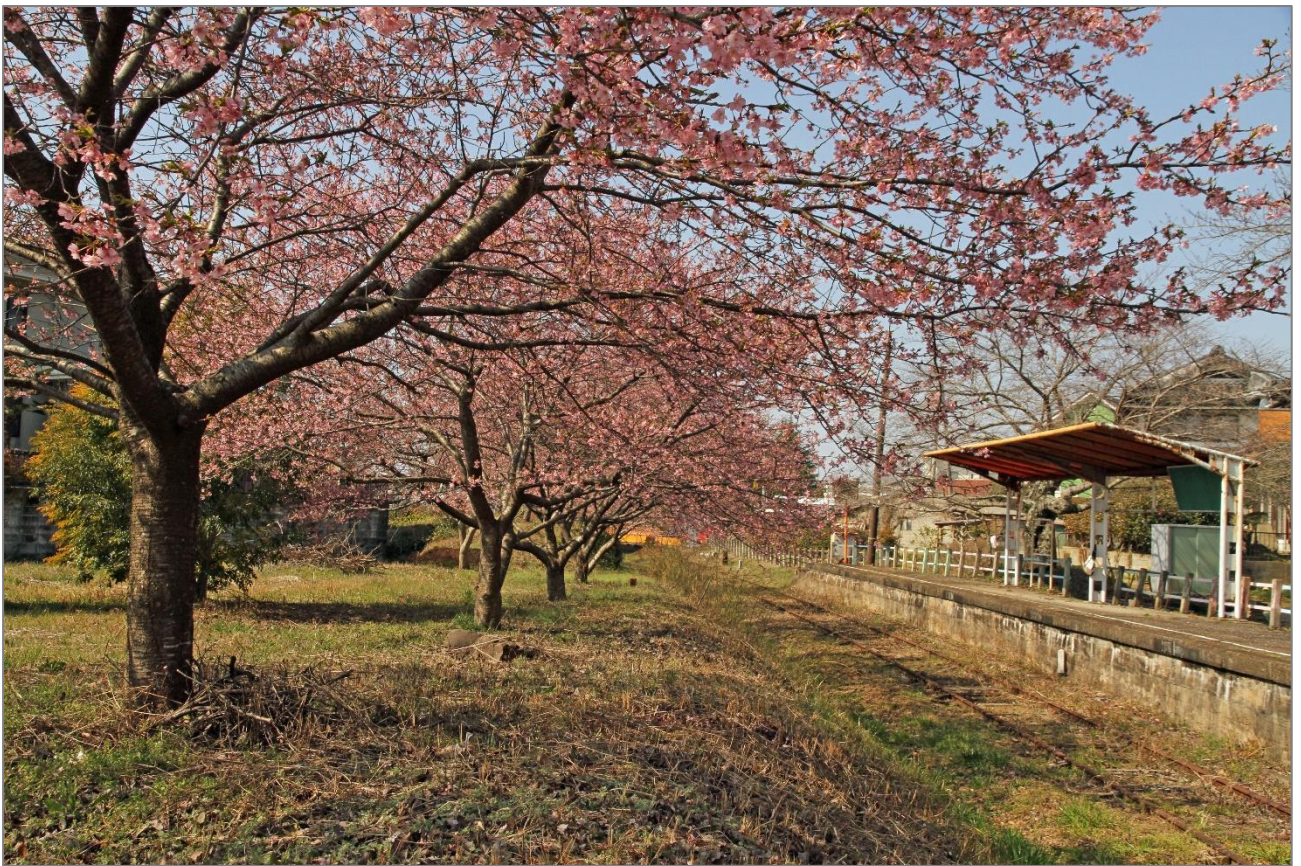


平成 16 年 3 月 31 日、三河御船～猿投間の「枝垂れ桜」の大木。LE-Car を入れて撮ろうとしたが、3 人の先着様が三脚にカメラを取りつけて…思うアングル場所がなく退散したが、あれから 15 年、我一人独占で撮ってきました。見事な大木「枝垂れ桜」です。



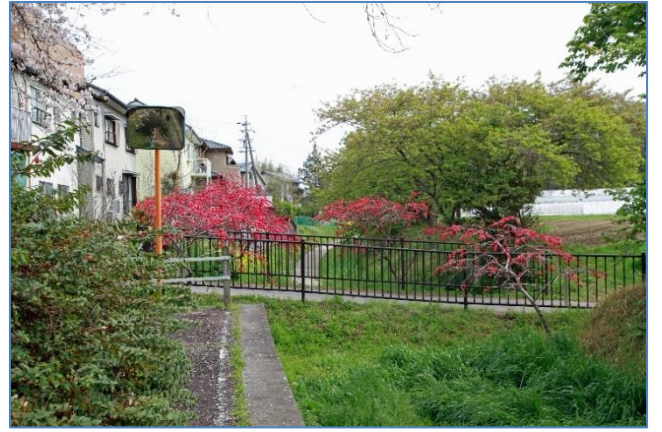


平成 28 年 3 月 12 日



平成 29 年 3 月 22 日





花桃…平成5年3月27日



山吹…平成5年4月19日





平成 19 年 8 月 9 日

夏



平成 27 年 8 月 5 日



ホーム脇で咲く錢葵の花…平成 20 年 6 月 4 日



平成 20 年 6 月 4 日



豊田市の花・向日葵…平成19年8月9日



平成 22 年 11 月 26 日

秋



彼岸花…平成 23 年 9 月 27 日



彼岸花…平成 24 年 9 月 29 日



花壇に乱れ咲くサルビア・日日草など…平成 23 年 9 月 27 日



散策・後ろ姿を見れば判る幸せ一杯の夫婦？…平成 24 年 11 月 18 日



小雨の中、町内総出でふれあい広場(旧三河御船駅)の大掃除・ありがとう御船の皆さん…平成 26 年 10 月 26 日



平成 28 年 11 月 28 日



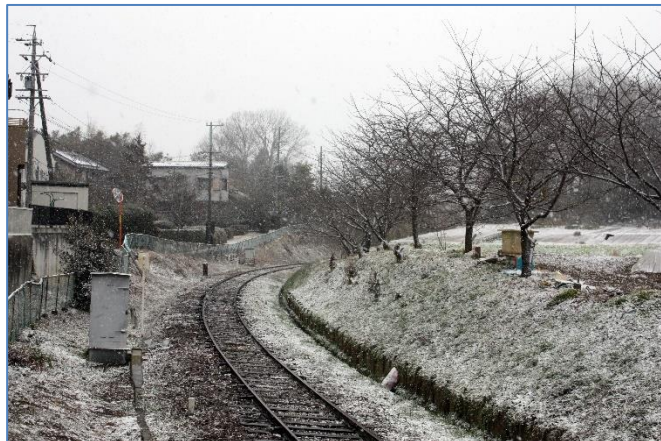
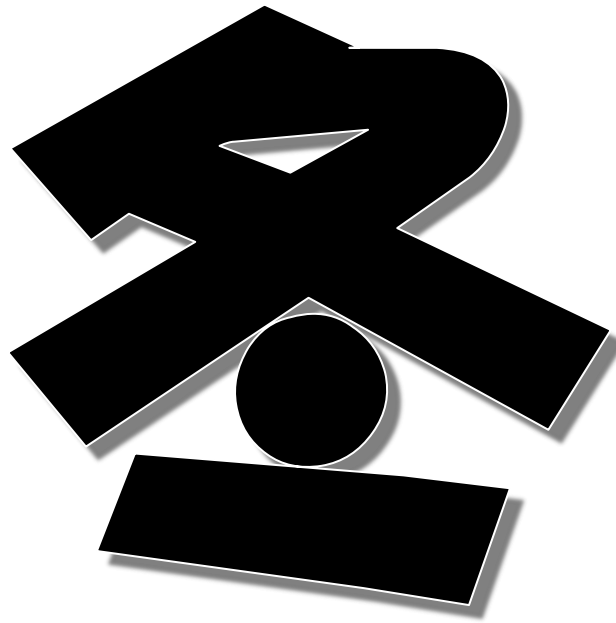
平成 29 年 11 月 29 日



平成 17 年 12 月 19 日



平成 20 年 2 月 10 日



平成 23 年 1 月 17 日



平成 26 年 2 月 8 日



平成 17 年 12 月 19 日



平成 17 年 12 月 19 日



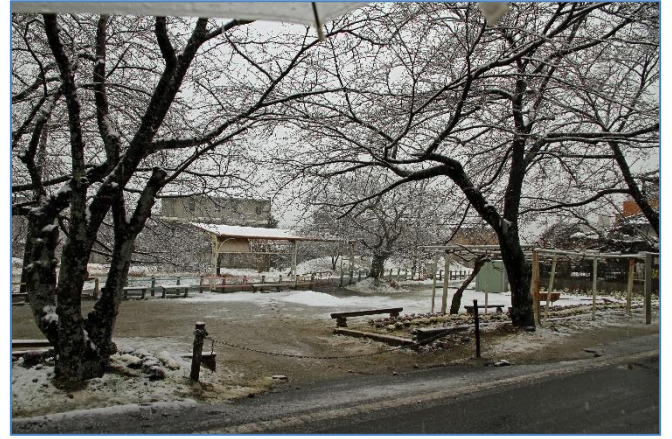
平成 20 年 2 月 10 日



平成 23 年 1 月 17 日



平成 24 年 2 月 2 日



平成 26 年 2 月 8 日



平成 28 年 2 月 20 日



平成 28 年 2 月 20 日



平成 28 年 2 月 20 日

御船の「お舟石(おふないし)」または「御舟石(みふねいし)」

お舟石の一つは、豊田市御船町御船川の旧三河線鉄橋西320㍍(西中金に向かって左側…50 km/h制限の入り口付近25㍍)の線路沿いにあり、私が初めて「お舟石」に出会ったのは、昭和47年のことである。

たまたま、御船川を越えた枝下方の力行標板が脱落したと報告を受け、三河御船で下車し徒歩で御船川鉄橋を訪れたのが最初の出会いであった。当時は線路からよく見えた。「お舟石」は花崗岩で長さ4㍍、幅2㍍ほどの長方形で舟形に見える自然石で、通称「お舟石」とか「御船石」と呼ばれていた。豊田市史によれば、御舟石は御船の里に1柱、猿投山上に2柱ある。伝えによれば、日本武尊の兄である大碓命は戦に弱く負け戦ばかりしていた。この地に来られたときも、やはり戦いが不利になり、矢作川を舟でのぼって「三船川」から猿投山へ逃れられた。このとき一舟は御船の里に、二舟は猿投山頂にとめたという。また、一説には、ある年、洪水があり、猿投の神が舟に乗って御船川を下られたとき、二舟は山上にとどまり、一舟は里まで来られたという。

このように、この石は神の召された舟であり、みふねあるので、この地を「三船」といい、「御船」となったといわれている。

御船の里にある石は、三河鉄道建設工事のとき、この石が埋められそうになったところ、作業員が負傷するなどの事故が続発し、工事ははかどらなかつた。土地の人々は、猿投・観音院の岡嶋老僧に祈願を頼んだところ、事故はなくなったという。石の上に土が盛られないように線路側は石垣で守り「御舟石」の碑が建てられている。

愛知県豊田土木事務所発行(H3年3月)の「矢作川」によると、豊田市御船町の「御舟石」は、「おふないし」ともいう。三河線建設工事のとき埋められて、事故が絶えなかつたため、石垣で守り、標石を建てた。長さ4㍍、幅2㍍あまりの大きさある。船の地名は、この石から名づけられたのでしょうか。表面は平らであっても粗面であり、古墳の蓋でもないし、付近に社もないから、岩神とか言われるものでもない。付近に民家もない。ただ「シラヒゲ草」という豊田市天然記念物が近くの湿地に生えているだけと記している。

平成16年2月 散策路完成



「お舟石」碑の手前の石



御船川橋梁

鉄橋と橋梁の違いは？ と問われれば、ほぼ同じと
答えます。鉄橋は俗語で、正式には橋梁です。

鉄橋とは、鉄道橋と鉄でできた橋の二つの意味が…。

ところで、この御船川橋梁は、名鉄では一番高い橋梁です。

何十メートルだったか忘れましたが…。長さは 71.4 メートルです。

今では「東海環状自動車道」の下になり、一生陽の当たらぬ運命に
晒さらされています。



平成 16 年 3 月

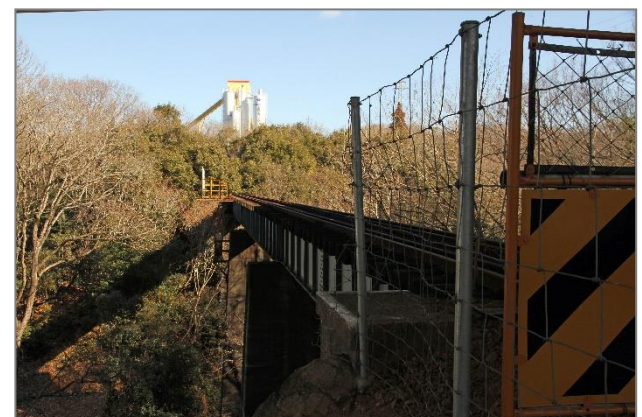


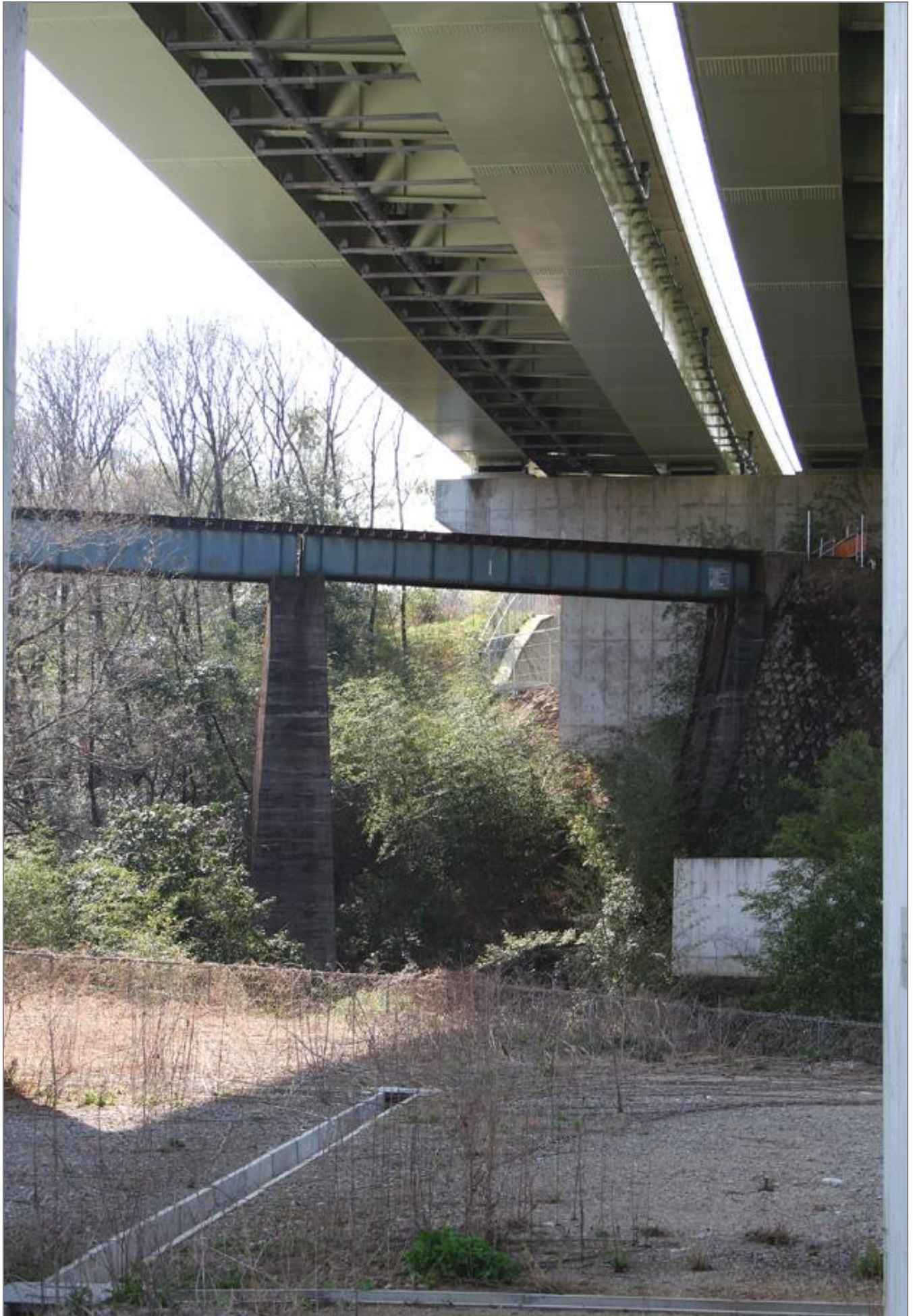
平成 22 年 11 月 6 日



平成 22 年 11 月 18 日

平成 24 年 1 月 7 日





平成 19 年 4 月 8 日



平成 22 年 12 月 27 日





番外編・御船の河津桜…令和6年2月24日



